

* 応募された方の個人情報は、市村アイデア賞関係以外には使用致しません。

◎ 受付No.は、記入しないでください

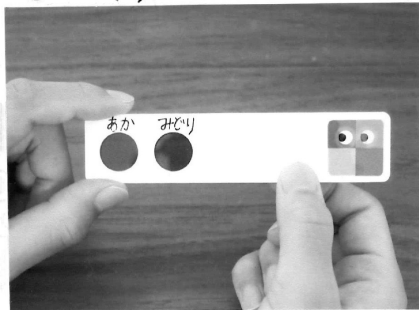
アイデア名	見分けにくいをなくす色覚バリアフリーツール		
フリガナ	イタクラユウセイ		
名前	板倉由征	学年	6年
学校名	愛知県豊田市長根川小学校 (通学している学校名を記入します)		
応募方法	1. 学校から 3. 個人で 2. 発明クラブなどの団体 団体名 (豊田少年少女発明クラブ)		

◎ここからは必ず自分で書きましょう。Bの鉛筆か黒のボールペンではっきりと書いてください。

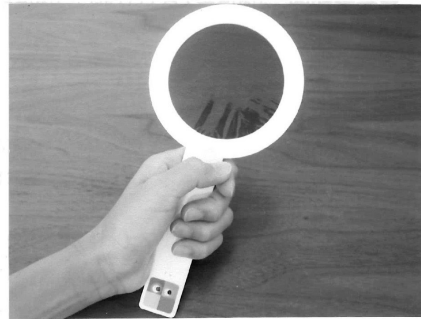
1. なぜこのアイデアを思いつきましたか
 ほとんどのお父さんは、色覚特性(色弱)があって、色の見え方がちがいます。お父さんは、パソコンの仕事をする時に、LEDライトの赤系と緑系が見分けられず困ります。焼肉をするときには、焼けたかどうか色の変化が分かりません。見え方がのっている図かんを見た時はおどろいたけれど、同じような人が大勢いることも知りました。そしてそのほとんどが、光の三原色のうちの赤と緑を感じる糸田ほうか少ないことが理由だと分かりました。それなら、赤や緑をおきかなうことでお父さんを見分けられるかもしれないと思ったのがきっかけです。

2. 作品が完成していたら、写真をはってください

① スティック型(LEDライト用)



② ルーペ型(広はん囲用)



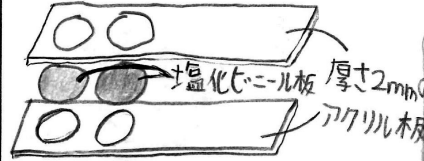
ユニバーサルカラー(誰も見分けやすい色)と目のシールを使って、オリジナルのマークも作りました。

3. 作品を実際に作ってみましたか

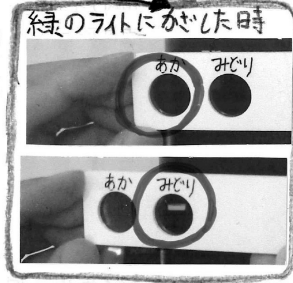
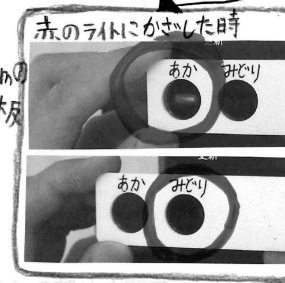
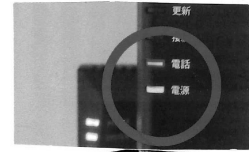
作りました いま作っている 作っていません

4. アイデアの図を書いてください

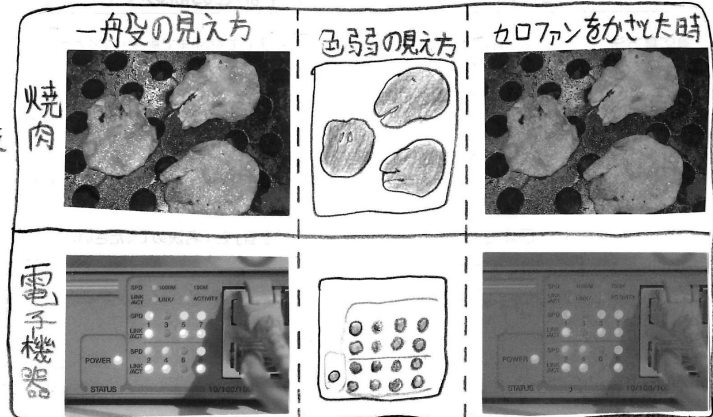
① スティック型



LEDライト



② ルーペ型



5. 上の図の説明を書いてください

① スティック型(LEDライト用)

色弱の人は、LEDライトの赤と緑を見分けることが難しいです。でも、このスティックをかざせば、赤シートは赤色の光だけ、緑シートは緑色の光だけを通すので、正しく色を見分けられます。工夫したのは、見分ける色をまちがえないように、「あか」「みどり」と書いたマシと、ポケットに入るサイズにしたことです。これで木製木製のエラーが起きても正しく色をみられます。

② ルーペ型(広はん囲用)

広はん囲用に作りました。①の塩化ビニルだと暗すぎる視界になったので、セロファンに変えて、明るさを保ちました。このルーペをかざせば、赤以外の色は暗く見えるため、色弱の人の苦手な赤、が目立つ見え方になります。生肉の赤や、たくさんあるLEDライトの判別、他には多量駐車場の空きを知らせる赤系緑ランプなど、